

各位

会社名 株式会社キャストリコ
(コード番号 6695 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 佐川 達也
問合せ先 常務取締役 都留 顕二
T E L 03-6910-1651
U R L <https://www.castrico.co.jp/>

通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2026年4月30日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2026年1月30日に公表した2026年3月期（2025年11月1日～2026年3月31日）の業績予想を修正することを決定いたしました。また、当社は、2026年3月期において、特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2026年3月期（2025年11月1日～2026年3月31日）業績予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,264	38	34	24	10.90
今回発表予想 (B)	1,426	102	99	△43	△19.90
増減額 (B-A)	162	63	65	△67	
増減率 (%)	12.8	166.2	186.4	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年10月期)	3,609	122	131	79	36.11

(注) 2025年10月期は、2024年11月1日から2025年10月31日までの12ヶ月であります。

(業績予想の修正理由)

2026年3月期の業績につきましては、プロダクツ事業のサーバー関連の受注が好調に推移したことにより、売上高は前回発表予想を上回る見込みとなりました。利益面につきましては、人件費の増加や材料費の高騰等の影響があったものの、増収効果等により、営業利益及び経常利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。一方で、下記の通り特別損失を計上する見込みとなったことから、当期純利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

2. 特別損失の計上見込みについて

当社は、2026年3月期において、事業整理損として164百万円を特別損失に計上する見込みであります。本件は「その他事業」に含まれる新規事業として取り組んでまいりましたDX事業につき、市場環境や競争環境を踏まえ、今後の事業継続及び収益性について慎重に検討した結果、当初想定していた収益の確保が困難であると判断し、当該事業を整理することに伴い、DX事業に係る棚卸資産（タブレット端末等）の評価減を実施するものであります。

なお、当該事業整理は当期における一時的なものであり、今後の継続的な損失の発生を見込むものではなく、主力事業である「エレクトロニクス事業」の業績に与える影響は限定的であります。

以上